

解説「風の散歩」(寺山千代子監修) 田中瑞木作品解説, コレール社, pp.70-75, 1999

よそのとり (Hens Somewhere Else)

田中瑞木 (TANAKA Mizuki)

油彩 / 380 × 455mm

油絵を習い始めて2枚目の作品です。4時間くらいで完成させました。とりを画面上に構成した後で、とりから卵を連想したらしく、ゆで卵と目玉焼きを描き加えたところに面白さを感じます。

Having arranged pictures of hens on a canvas, she has added boiled and fried eggs. Some of the latter are 'sunnyside-up' and are presumably associated with the hens in the picture.

おしろ (A Castle)

田中瑞木 (TANAKA Mizuki)

油彩 / 380 × 455mm

この作品は、写真満載の子ども向け図鑑を見ながら描いたもので、「おしろ」に行ってもないのに、虹と空、三角屋根を配した白の建物が力強く描かれています。

She painted this picture after referring to a book of photographs. Though she had never seen a castle, she painted while edifices with peaked roof against a background of a rainbow arching across the sky.

自転車に乗ったねこ (A Cat on a Bike)

田中瑞木 (TANAKA Mizuki)

油彩 / 530 × 652mm

「すきなものはなあに」と問いかければ、「自転車、ねこ、ブランコ」と答えが返ってきます。瑞木さんにとっては、大好きなねこが大好きな自転車に自分と同じように乗ることは、不思議でも、変でもないのです。このような発想は彼女ならではのものです。

Her favourite cat rides on her favourite bike. This is an image from her highly imaginative mind.

秋のサファリパーク (A Safari Park on an Autumn Day)

田中瑞木 (TANAKA Mizuki)

油彩 / 1167 × 803mm

日曜日にバスに乗り、サファリパークへ行った翌週の事です。スケッチブックにその思い出の不思議なキリンが描かれていました。半年ほど経ってから油絵で描いたのがこの

作品です。深いU字形の身体、その4本の足と3本の樹木のバランス、秋の深さを表した背景のワインレッドの森など、直観力にすぐれた個の力があふれています。

A week following an excursion by bus to a safari park, she drew an unforgettable giraffe in her sketch book. She painted it in oil six months later.

ブランコ (A Swing)

田中瑞木 (*TANAKA Mizuki*)

油彩 / 1167 × 910mm

近頃は、絵の具を塗り重ねて深みのある色調を出すことが、課題の1つになっています。この作品は、その課題に根気のある態度で取り組み、完成させたものです。一人は瑞木さん自身、もう一人は大好きな指導員の先生です。二人で公園のブランコに乗って、あたりには花がいっぱい咲いていて、おそろいのパンツをはいて...、これは彼女のささやかな願望なのです。

One of the pair is a self-portrait. The other is her favourite teacher. Both are wearing the same slacks and are climbing on to a swing in the park full of flowers. The situation may be an unfulfilled wish.